



2022年2月の総会をもって2015年から研究会会長をお務めいただいた武内ゆかり先生がご退任され水越美奈先生が新会長にご就任されました。武内先生のこれまでのご尽力に心より感謝を申し上げます。

*Thank you!*



## 新会長ご挨拶

### 水越 美奈先生



今年度から武内ゆかり先生に替わり、会長を務めさせていただきます。研究会は設立当初から参加していますが、黎明期を支え、これまで研究会を発展させてきた武内先生とは比較もできないくらい技量も業績も全くない私に何ができるのか?と考えています。会員の皆様の支えなくして何もできないと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

これまでを振り返ると、計画が苦手な私は大学卒業後、道が決まらないまま、興味の向くまま、そして周りに流されるまま、ここまで来たように思います。小動物臨床の道に進もうと動物病院に就職したものの、病気や怪我以前に「自分の家の犬に触れない」「自分の家の犬に噛まれる」ことがこんなに多いことに驚愕していたところに、(今までは訓練と言えば服従や警察犬のイメージしかなかった私に)【叱らないで褒めるだけ?でしつけられる方法がある】という話を聞き、休日に栃木県の佐良直美さん宅にテリー・ライアンさんを訪ねて教室に通うようになります(これがJAHAの講座に繋がります)。一方、臨床では3年間の代診後(今は代診なんて言葉も聞かなくなりましたね)、臨床病理の勉強をしたくて、大学に研修医(生)として戻り、研究室でAVMAやAAHAの雑誌を読んでいたところ、米国で行動の専門医制度ができたことを知ります(1993年くらい?)。それまでこのような分野は獣医療の分野だと思っていなかったこともあり、目からウロコ

がポロポロと落ちて獣医行動学の勉強をしたくて米国の学会などにでかけるようになります(この頃、南佳子先生と知り合ったんじゃないかな?すでに同級生の尾形庭子先生は独自に英国や米国で勉強しました)。その後、学会だけじゃ物足りなくなり、行ったり来たりもありながら2年近く米国の行動クリニックや大学にお世話になり、帰国してから今度はちゃんと研究してみたい、研究手法というものを知りたいと大学院に入学し(この時点で40歳超えてる!)…、興味の赴くまま、今に至ります。

まあ何が言いたいのか、というと、それが良かったかどうかはわかりませんがいくつになっても勉強はできるし、モチベーションは大事!ということでしょうか。紆余曲折もあつたし、臨床に少し未練があつたりもしたけれど、結果として自分の興味/関心がある分野に進むことができたのは幸せだと思います。『お互い楽しもうと動物と一緒に生活を始めたのに、その生活が苦痛になっている人がいる/その生活が苦痛になっている動物がいる』ことをできるだけなくし、全ての動物と飼い主が共に生活を楽しめるような社会にすることを目指したいと思っています。それには獣医師や動物病院スタッフの力が必要で、行動学の知識が広まらなければ達成しません。そういったところでも行動研究会も大きな力になると期待しています。どうぞよろしく願いいたします。



# 水越美奈先生を**深掘り**!!

## Q. 先生の一歩の相棒（動物）はどんな子ですか

犬は記憶がほとんどない赤子の頃から、猫は大学生から途絶えることなく家にいましたし、かつてはウサギ、モルモット、鶏、セキセイインコ、文鳥などと生活していました。今はアフガンハウンドのシンディ（しんちゃん）と耳立ちスコティッシュフォールドのくりこさんがいます（両方とも長野県の保健所出身）。一番、心に残っている子は JAHA のしつけインストラクターの資格取得の時に一緒に頑張ったシェルティのレディです。

## Q. 最近のご趣味 or マイブームを教えてください

ここ 10 年くらいは「歌舞伎」と「文楽」を観に行くことでしょうか。米国に行くようになって「日本の伝統文化」を知らな過ぎることに気づき、「能」「狂言」「浄瑠璃」「講談」「浪曲」等、片っ端からかじりましたが、今現在残ったのが「歌舞伎」と「文楽（人形浄瑠璃）」になります。

## 水越美奈先生 プロフィール

Profile

日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護学科 教授  
同大学付属動物医療センター行動治療科担当  
獣医師、博士（獣医学）  
獣医行動診療科認定医  
日本動物病院協会（JAHA）認定家庭犬しつけインストラクター  
日本獣医師会 動物福祉・愛護部会 委員  
日本動物病院協会（JAHA）養成講座委員会委員長  
厚生労働省 身体障害者補助犬の訓練及び認定等のあり方検討会  
動物臨床医学会 評議員  
環境省 中央環境委員会 動物愛護部会  
人と動物の関係学会 評議員  
日本小動物獣医師会 学術顧問  
優良家庭犬普及協会 常任理事



# 研修医紹介

①氏名(敬称略) ②所属 ③診療をおこなっている都道府県 ④出身大学(研究室)  
⑤好きな動物 ⑥座右の銘 or 好きな言葉 ⑦趣味 or マイブーム ⑧一言

認定医候補の名称が「獣医行動研修医」に変更されました。  
2021年に研修医となられた先生をご紹介します。

## ① 長谷 生子

- ②はせ犬と猫の病院
- ③京都府
- ④帯広畜産大学(薬理学研究室)
- ⑤ネコ科動物、金魚
- ⑥あせらず、くさらず、あきらめず
- ⑦マンガを読むこと、ドラマ、映画を見ること、音

楽を聴きながら仕事や家のことをすること、あまり行けていませんがアウトドア、旅行も好きです。  
⑧一般診療をしつつ行動診療をしています。行動学は一般診療に活かせることが多く、一般診療が行動診療に活かせることもあると感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

## ① 井立 由起子

- ②犬山動物総合医療センター
- ③愛知県
- ④北里大学(毒性学教室)
- ⑤犬と猫
- ⑥笑う門には福来る

⑦映画鑑賞とサッカー観戦  
⑧病院では一般臨床、行動診療、パピークラス、アニマルセラピー、ハンディキャップのある子犬・子猫の譲渡活動(TeamBOWWOW)を担当しています。よろしくお願いいたします。

## ① 山田 良子

- ②東京大学 獣医動物行動学研究室
- ③東京都
- ④東京大学(獣医動物行動学研究室)
- ⑤キリン。飼える範囲だとネコです
- ⑥雨垂れ石を穿つ

⑦料理、飼いネコの匂いを嗅ぐこと  
⑧多くの動物とご家族のお役に立てるよう精進してまいります。また、行動診療に関わる研究も進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## ① 北村 優

- ②苅谷動物病院グループ 市川総合病院
- ③千葉県
- ④岩手大学(内科学研究室)
- ⑤犬、コアラ、クラゲ
- ⑥ナメクジも走っているのかもしれない

⑦家庭菜園、犬の散歩  
⑧一般診療を主としながら、行動診療を行っています。飼い犬・飼い猫を大切にしている飼い主さんとの、診療中の何気ない会話が日々の楽しみです。よろしくお願いいたします。

# 獣医行動プラクティショナーが誕生

2021年9月に「第1回プラクティショナー試験」が行われ15名の獣医行動プラクティショナーが誕生しましたので、ご紹介させていただきます。

動物病院名	動物病院所在地	獣医行動プラクティショナー名(敬称略)
動物病院ちいさい仲間・おおきい仲間	北海道河東郡上士幌町	新木 美和
そらいろ動物病院	福島県南相馬市原町	寺島 美穂
稲川動物病院	茨城県下妻市小島	平沼(大久保) 宏子
柳都こもれび動物病院	新潟県新潟市中央区	角田 由夏
げんき動物病院	東京都世田谷区下馬	浦野 裕美
Vettec Dentistry	東京都墨田区東向島	杉井 めぐみ
経堂どうぶつ病院	東京都世田谷区経堂	山田 真子
おかの動物病院	神奈川県横浜市港南区港南台	河内 由紀
トムズどうぶつ病院	神奈川県 逗子市沼間	花八 亜子
苅谷動物病院グループ市川総合病院	千葉県市川市市川	北村 優
にしむら動物病院	静岡県浜松市北区細江町	西村 千枝
いしづか動物病院	大阪府岸和田市藤井町	上境 依理子
バーニー動物病院	大阪府守口市滝井元町	堂山 有里
小野山動物病院	兵庫県朝来市和田山町	小野寺 智香
ファミー動物病院	山口県防府市開出本町	沖汐 恵

# 会員の窓

今回は茂木千恵先生から「柄沢どうぶつ病院」の院長 武田繁幸先生 にバトンが渡りました！

26年前の話。アトレイユという雄のオールドイングリッシュシープドッグを飼っていた。30キロの大型犬、子犬期からトレーニングに通い、訓練士さんにも家族にも明るくお利巧な子だった。3歳を超えた頃から、家庭内で攻撃性が出た。弟や妹に攻撃し、縫うようなケガを数回、母親に飛びついて大ケガを負わせたこともあった。訓練も散歩も上手…家でもスイッチが入らなければ穏やかな子であった…しかし大型犬に襲われる側としたら恐怖でしかない。

獣医から「上下関係」、重度の「 $\alpha$ 症候群」、「激怒症候群」もしくは「脳疾患」ではと言われた。当時はMRIもなく確定診断もつかない時代…、深刻なら「保健所」と提案された…「そういうこと」だ。何日も家族で話し合い、何度も獣医や訓練士と相談をした。しかし最終的に保健所に渡すくらいならと、かかりつけで「その」選択をした…。家族全員罪の重さに苦しみ、母親もぼんやりし、会話もなくなり家庭内の雰囲気も暗くなった。

当時自分は一人暮らしの獣医学生、何の役にも立たなかった。学科の先生に聞いても、図書館でも良い答えはなく、ようやく購買部で見つ

けたのは一冊の本、学窓社の「動物行動治療学」。これが行動療法との出会いだった。初めて専門書を端から端まで読んだ、もっと早く出会っていればという感情を今でも覚えている。現代のようにネットで情報が簡単に手に入ることはなく、どこで学ばいいかもわからず、専門医を志すという選択もできなかった。

絶対こんなことはあってはならない、こんな思いをしてもらいたくない。またこんな思いをしたからこそ、町医者となって同様なことで悩む家族の相談に乗り、早めに予防し専門医にも紹介できるよう開業を志した。今となっては恥ずかしい青臭い想いだ、これが自分が一冊の本と出会い、開業し行動療法を診察の中心に置く理由である。

運命の日、最期にバナナをあげた。いつものようにもっと欲しかったが、いつもの癖でいつもの量しかあげなかった「ハイ、モウオシマイ」。なんで？最期だったのに…もっとあげればよかった…ずっと後悔している。

26年前の話である…未だ、心に深く傷が残っている。

柄沢どうぶつ病院 武田繁幸

ありがとうございました！次はどなたにバトンが渡るでしょうか。ご自身のところに回ってきた際はどうぞ快くお引き受けください。

## 事務局からのお知らせ

現在本研究会の会員数が400名近くとなりました。これに伴い研究会に会員管理システムを導入することが決まりました。会員宛に仮会員登録メール、本会員登録のお願いが10月以降に送られる予定です。手続き方法に関しましては詳細を分かり易く案内を製作致しますので、秋以降にメールが送付された際には本登録をよろしくお願ひします。

今年度の年会費納入のお願いが遅れましたことをお詫びすると共に銀行振込をよろしくお願ひします。

事務局 内田 恵子



ニュースレター No.22 発行者：日本獣医動物行動研究会 広報委員会

Japanese Veterinary Society of Animal Behavior